

チャレンジテスト範囲

国語

※以下の題材を用いて、内容理解や自分の考えを書いたり話したりすることについて出題します。

- 漢字の読み・書き、言葉の特徴やきまり、伝統的な言語文化に関すること
- 文学的な文章、説明的な文章、古典など
- 児童・生徒の作成物、その他さまざまな資料
- 書写(楷書)に関すること

数学 (P10~P142)

- 1章 正の数・負の数
- 2章 文字の式
- 3章 方程式
- 4章 変化と対応
- 5章 平面図形

英語

Get Ready Lesson1~8

人にとっても、どんなふう
うに勉強したらいいの
わかんない、というこ
もあつたろう。そうい
う人は、とりあえずいま
までの定期テストの問題を

もう一度やり直してみ
て下さい。その上で自分
の得意な分野、自分
の苦手な分野を見
つけて、しっかり復習し
ていきたいと思います。

年明け早々、1月13日
に「チャレンジテスト」
が実施される。詳細につ
いては、すでに6月に大
阪府教育委員会からの書
類をみんなに配ったけれ
ど、もう思い出している人
多いと思うので、必要と
思われる部分のみを再掲
する。特に下記にはしっ
かりと目を通しておいて
ほしいようにしてほしい。

又、ひとつの例として
昨年度の国語の教科書が
げられていたが、今回そ
れがそのまま適用される
とは限らない。
左記のテスト範囲をみ
て下さい。みんなに広
い範囲のテストを受けるの
は初めてという。冬休
みにしっかり準備してほ
しいけど、勉強が苦手な
人にとってもそうではない

チャレンジテスト について、再確認

大阪府公立高等学校入学者選抜の 調査書に記載する評定について

チャレンジテスト実施教科について、各中学校が調査書に記載する第1、第2学年の評定は、大阪府教育委員会が提供する「評定の範囲」に示す得点の範囲内にあることが必要です。なお、平成30年度選抜からは第3学年、第2学年及び第1学年の評定が選抜の資料になります。

※「評定の範囲」とは

各中学校における生徒の評定が、妥当性、信頼性の高いものであるかどうかを判断し、選抜の公平性を担保するため、府内中学校の仮評定とチャレンジテストの結果から算出し、大阪府教育委員会が示す得点の範囲のことです。

＜例＞評定の範囲(平成26年度:試行)

第1学年	評定5	評定4	評定3	評定2	評定1
国語	100点~64点	94点~51点	88点~34点	72点~16点	58点~0点

※例:第1学年の国語において、「評定3」と評価されている生徒のチャレンジテストの得点が「評定の範囲」である88点から34点の間であれば、その生徒の評価は妥当かつ信頼できるものとします。

55期生の仲間たち

東三国中学校1年生学年通信 vol.5 2015年12月8日(火)

時間割(中学部) 第1学年

1時限目	2時限目	3時限目
国語	数学	英語

※開始時刻は、各学校で決めます。